

評価者	健康福祉部長	田中 良一
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	スポーツ施設の整備
目標とすべきまちの姿	市民ニーズの高いスポーツ施設が整備され、民間のノウハウも生かした幅広い施設運営により、市民のスポーツ活動が充足されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	25.3%	平成30年度(2018年度)	27.8%	平成29年度(2017年度)	22.8%
	平成28年度(2016年度)	21.8%	平成27年度(2015年度)	25.3%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.3%	1.3%	0.3%
ちょうどよい	1.3%	42.6%	1.6%
効果不十分	1.9%	3.0%	16.3%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.1%	0.5%	0.3%
ちょうどよい	1.2%	40.0%	1.7%
効果不十分	2.1%	2.1%	17.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.7%	0.7%	0.2%
ちょうどよい	1.1%	40.2%	1.2%
効果不十分	2.6%	1.6%	24.3%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.3%	0.4%	0.7%
ちょうどよい	1.2%	43.2%	2.3%
効果不十分	2.3%	2.1%	18.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.4%	1.1%	0.1%
ちょうどよい	1.3%	38.6%	2.1%
効果不十分	2.7%	3.6%	17.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	21.0%	43.2%	5.1%	30.7%
平成30年度(2018年度)	22.1%	39.8%	5.3%	32.7%
平成29年度(2017年度)	28.3%	39.4%	4.7%	27.6%
平成28年度(2016年度)	26.1%	42.8%	3.9%	27.2%
平成27年度(2015年度)	25.5%	38.9%	4.9%	30.8%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

①総合体育館、グラウンド建設に向け、(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会において作成した整備基本方針及び基本計画の素案を、スポーツ推進審議会と協議していく。(健福-55)
 ②山崎浄化センター西側建物の上部利用は、下水道事業の進捗を注視しながら、都市整備部所管の下水道運営協議会に説明し、地元住民からの様々な意見を集約したうえで市民が望む施設を作る。(健福-55)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

①深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向け、他部署との調整やスポーツ審議会の意見を聴きながら、進めていくことで、市民ニーズの高いスポーツ施設を整備していく。(健福-55)
 ②山崎浄化センター西側建物の上部利用は、市民ニーズの高い施設の整備を進めていくことで、市民のスポーツ活動を充足させる。(健福-55)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託事務	今後の方向性	
整理番号	事業名	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)		事業内容	予算規模
健福-55	体育施設整備事業	3,699	4,242	1.5	2.0	無	d	B

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】
 ①総合体育館、グラウンド建設に向け「(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会」を深沢地域整備課を交えて開催し、委員に深沢地域のまちづくりを説明し、総合体育館、グラウンドの計画内容やその時期について理解を得た。(健福-55)
 ②山崎浄化センター西側建物上部の利用は、下水道運営協議会において近隣住民の要望等に基づき、テニスコート等のスポーツ利用はされないことが決定された。(健福-55)

【実施できなかった事業とその理由等】

①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、民間企業のグラウンドの借用が行えなくなったことから、企業や学校法人等が所有するグラウンドの新たな借用に向けて、情報収集に努め、協議を行っていく必要がある。(健福-55)

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

・鎌倉市総合体育館・グラウンドの施設整備基本方針及び基本計画の素案について、深沢地域整備事業地の都市計画決定の期間延長のため、スポーツ審議会に諮問できなかった。(健福-55)
 ・山崎浄化センター西側建物上部の利用については、下水道運営協議会においてスポーツ利用はされないことが決定された。(健福-55)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	健福-55	事業名	体育施設整備事業					指標の内容	スポーツ施設建設基金寄附積立金	単位	円	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)						
スポーツ施設整備に必要なため		目標値	100,000	100,000	1,754,000	1,754,000	4,100,000	4,800,000						
		実績値	3,051	269,236	1,736,690	2,010,035	4,225,868	3,699,000						
		達成率	3.1%	269.2%	99.0%	114.6%	103.1%	77.1%						